

地域住民が相互に見守り活動を行う仕組みづくり

社会福祉法人 大垣市社会福祉協議会

所在地	大垣市馬場町
代表者	会長 山岡泰利
従業員数	123人
業種	社会福祉事業
活動開始	昭和50年3月
活動エリア	大垣市内

主な活動内容

○高齢者等の見守り活動の充実

見守り事業所が、日常業務の中で異変を感じた場合には、マニュアルに基づき連絡をいただきます。連絡があった際は、即そのお宅に、関係する職員が出向いて安否確認を行い、必要に応じて専門機関と連携して対応します。また、連絡をいただいた事業所に対しては、対応した内容等について報告します。

活動をはじめた経緯

少子高齢化が進む中、ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、要介護者などの要援護者が急増し、これまでの民生委員など一部の特定した支援者による見守り活動だけでは対応しきれない状況になってきました。そこで、地域住民が相互に見守り活動を行う仕組みづくりに取り組みました。平成20年度から3ヵ年かけて、あんしん見守りネットワークモデル事業を実施し、地域住民による見守り活動を充実させてきました。また、地域での個別の課題も複雑、多様化してくるなか、住民だけでは解決できない課題が多くなり、専門機関と地域住民が協働して支援する仕組みとして、平成23年度からは、地域支援ネットワーク委員会モデル事業を3ヵ年かけて実施しました。この取組みにより、市内の20の地区社協で、自治会活動の一環として見守り活動が充実してきました。

さらに、見守り支援者の輪を広げ、よりきめ細かい見守り活動を行うために、平成25年度からは、宅配業者や郵便局、新聞販売店など26事業所と見守り協定を締結しました。

工夫したこと・特色

事業所からの連絡が24時間いつでも受け

られるようにするために、地域包括支援センターと連携しています。特に対象が高齢者の場合は、地域包括支援センターと協働で対応しています。

活動の成果、今後に向けて

平成26年度実績として、年間10件対応しました。

平成26年度も新たに6事業所と協定を締結し、現在32事業所に登録していただいています。今後も見守りに協力いただける事業所の輪を広げていきたいと考えています。

担当者の声

○地域福祉課 三輪広美さん

地域には支援を必要とする要援護者が多く存在します。地域との関わりを拒否する方もおられ、課題があっても潜在化して見えてこないことがあります。一人でも多くの目で地域の課題を見出していただけたらと思います。



これから始める事業者の皆さまへ

最近では孤立している方が増えているようですが、その実態はわかりにくい状況です。その中で、いろいろな社会資源を活用して見守り活動が多方面からできる仕組みづくりをすることが大切かと思えます。



▲見守り事業所ステッカー

平成20年度
岐阜県 安全・安心
まちづくり賞